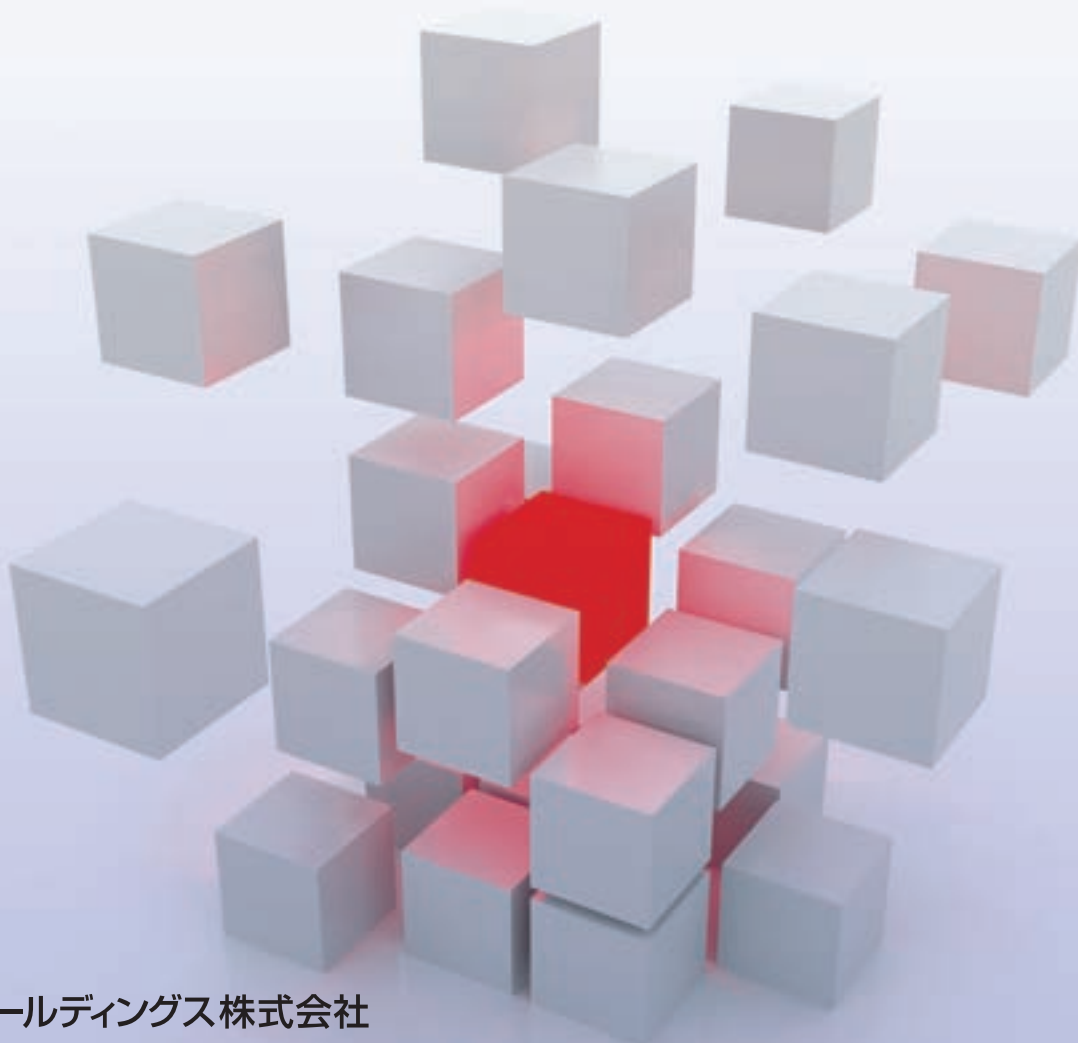


第50期 株主通信

第2四半期／上半期報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



JBCCホールディングス株式会社

証券コード：9889（東証一部 情報・通信業）

上半期業績ハイライト

連結売上高

428億 68百万円
(前年同期比1.0%増)

連結営業利益

1億 25百万円
(前年同期比84.1%減)

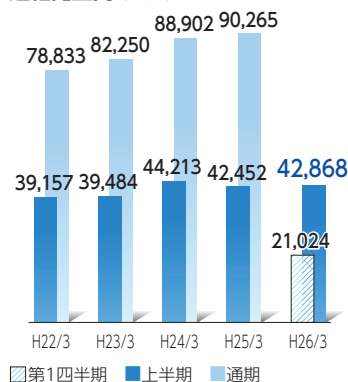
連結当期純損失

1億 7百万円
(前年同期 純利益2億47百万円)

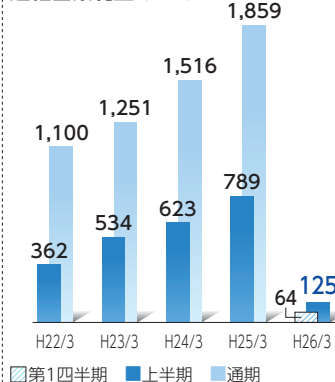
配当金

12.5円

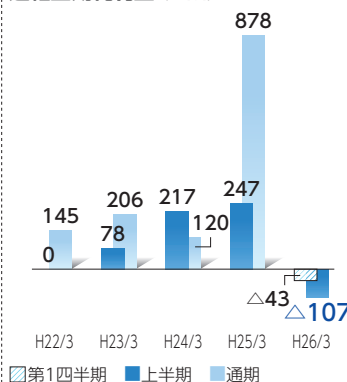
連結売上高 (百万円)



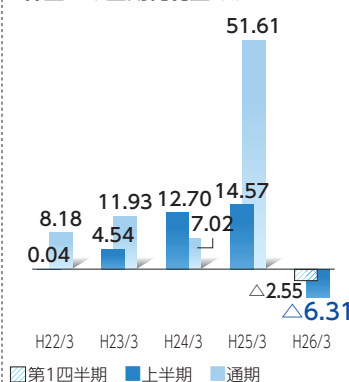
連結営業利益 (百万円)



連結当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	93,000 百万円	2,200 百万円	2,250 百万円	1,000 百万円	58.77 円
今回修正予想	91,500 百万円	800 百万円	850 百万円	150 百万円	8.82 円

平素は当社の経営に一方ならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第50期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の第2四半期が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期におきましては、政府の経済・金融政策の下、円高是正や株価回復がみられ、企業の景況感も改善するなど、景気回復の兆しがでてまいりました。企業のIT投資については景気遅行性がみられる中、大企業のIT投資は金融業を中心に堅調に推移しておりますが、当グループの主たるお客様である、中堅・中小企業のIT投資は慎重な姿勢が続き、全体としては本格的な回復には今一步の状況といえます。

このような事業環境の下、当グループは中期経営計画「Innovate2013」（2011～2013年度）をベースとして、既存ビジネスの強化のみならず、3Dプリンター等の新規ビジネスにも注力しておりますが、お客様のIT利用環境は日々、複雑化してきております。

上半期の業績につきましては、前年同期比で売上高1.0%増、営業利益84.1%減と厳しい結果となりました。利益減の要因につきましては、第1四半期より継続しているシステム開発（SI）のコストオーバー案件による原価増に加え、生産性向上を目的としたオフィス統廃合に伴う一時費用の増加による販売管理費増が影響しております。

第3四半期以降、業績の回復に向けて全力を尽くしてまいりますが、上半期までの収益状況を踏まえ、通期連結業績予想を平成25年10月31日に修正させていただきました。

なお、株主の皆様への中間配当につきましては、当初予定通り1株当たり12.5円とさせていただきます。また、期末の配当予想につきましても変更は行っておりません。

今後とも皆様のご期待にお応えできるよう、より一層努力を重ねてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年12月

JBCCホールディングス株式会社
代表取締役社長

山田 隆司



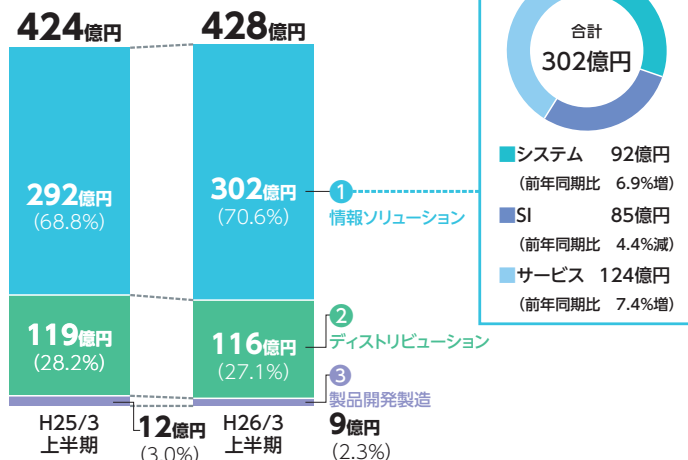


上半期のビジネス概要について教えてください。

JBグループは、3つの事業分野で活動しています。

ここでは、各事業分野のビジネス概況について、ご説明します。

事業分野別 売上高構成比の推移

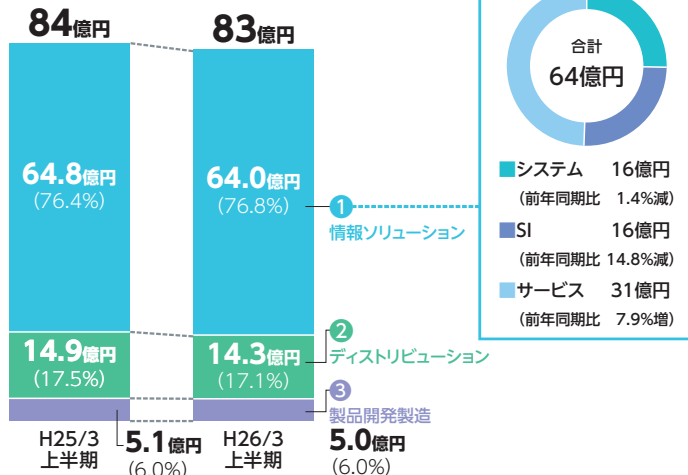


① 情報ソリューション分野

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を行っている情報ソリューション分野では、収益性の高いシステム開発（S I）は昨年に比して大型案件の減少に加え、コストオーバー等もあり、厳しい状況で推移しました。P Cやサーバーといったハードウェアは買替需要が増加し、それに付随する導入、研修等のサービスも堅調でした。

その結果、売上高は302億60百万円（前年同期比3.6%増）となりましたが、総利益は64億9百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

事業分野別 総利益構成比の推移



事業会社

JBCC株式会社（JBCC）
ケン・システムコンサルティング株式会社（KSC）
アドバンスト・アプリケーション株式会社（AAC）
株式会社シーアイエス（CIS）
株式会社ソルネット（SOLNET）
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社（GBS）
株式会社アイ・ラーニング（i-Learning）
株式会社リード・レックス（Reed Rex）
JBサービス株式会社（JBS）
捷報（大連）信息技术有限公司（JBCN大連）
佳報（上海）信息技术有限公司（JBCN上海）
JBCC（Thailand）Co., Ltd.（JBTH）
JBSG PTE. LTD.
JBパートナーソリューション株式会社（JBPS）

② ディストリビューション分野

パートナー企業様向けにハードウェア、ソフトウェア及びＩＴサービスなどの販売、並びにＩＴサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売を行っているディストリビューション分野では、新製品の拡販に注力しサーバー、ＰＣなどのハードウェア製品は堅調でしたが、ソフトウェア製品は大型案件が減少し、サプライ製品では主力のプリンター関連ビジネスが低下しました。その結果、売上高は116億37百万円（前年同期比2.7％減）、総利益は14億30百万円（前年同期比4.2％減）となりました。

事業会社 株式会社イグアス (iGUAZU)

③ 製品開発製造分野

プリンターなどの情報機器及びＪＢグループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売を行っている製品開発製造分野では、ＯＥＭビジネスでのインパクトプリンターの販売が減少しました。ＪＢソフトウェアについては、利益率の高いソリューション(意思決定、プリンティング、情報連携)が順調に推移し、グループ会社を通じての販売が伸長し利益に寄与しました。その結果、売上高は9億70百万円（前年同期比24.4％減）、総利益は5億1百万円（前年同期比2.0％減）となりました。

事業会社 JBアドバンス・テクノロジー株式会社 (JBAT)

株主還元

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとしており、将来の投資や事業展開を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

また、配当性向にも配慮しつつ、利益水準を向上させていく中で、純資産配当率（DOE）5％を中期的な目標としています。



中期経営計画「Innovate2013※」の進捗について教えてください。

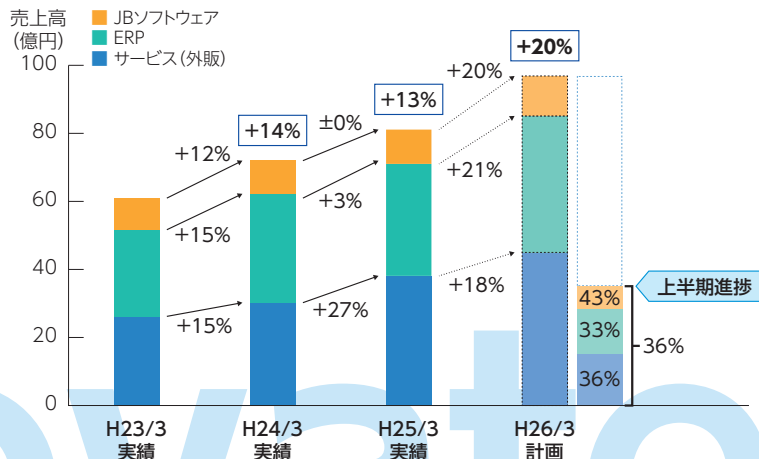
注力分野の状況と新たな取り組みの中から3Dプリンターについてご案内します。

中期経営計画では収益性の高い「JBソフトウェア」「ERP」「サービス（グループ外販売）」の3つに注力しています。上半期までの進捗は図のようになり、JBソフトウェアは43%、ERP33%、サービス（グループ外販売）36%の進捗でした。

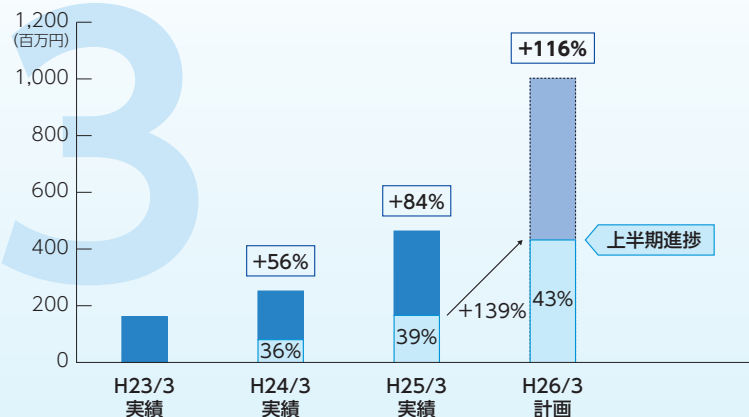
下半期は、目標の達成に向けて、JBソフトウェアはクラウド、ビッグデータ、モバイル関連の製品の充実、ERPは新製品の拡販、サービスはセキュリティや環境分野のビジネスを推進し、お客様の情報処理部門のみならず、マーケティングや営業、管理部門等にも積極的に提案を行っていきます。

中期経営計画では、医療、環境、3Dプリンター等の新たな分野にも取り組んでいます。

特に3Dプリンター関連のビジネスは、毎年、大幅に伸長しており、この上半期は、前年同期比で139%増となりました。この分野は従来、下半期の売上が上半期よりも大きいことと、消費税改定による需要の増加も予測され、引き続き、積極的なビジネス活動を行っていきます。



3D関連の売上



※「Innovate」は、「変革する、刷新する」という意味で、「2013」は中期経営計画の最終年度である2013年を意味しています。



IR活動の具体的な取り組みについて教えてください。

個人投資家のみなさまと直接お会いして情報交流できる貴重な機会として、IRイベントへ積極的に出展しています。

日経IRフェア2013に出展しました。

1万7千人を超える個人投資家が集まった「日経IRフェア2013」に当社も出展し、2日間で約1,500名の個人投資家の皆様に当社ならびにJBグループについてご紹介をしました。

当社社長による会社説明会には、100名近くの個人投資家の皆様に参加いただきました。

企業ブースでも、当社概要や事業についてミニ説明会を実施するなど、個別にご説明をさせていただくことができました。

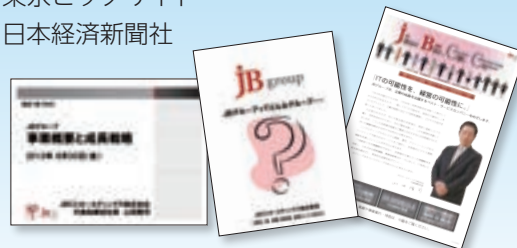
また、企業ブースでは、パーソナル3Dプリンター「Cube®」の実演や造形物の展示も行い多くの方に注目いただきました。

今後も、当社の認知度向上と事業を具体的にご紹介する機会として、個人投資家向けイベントにも参加してまいります。

開催：2013年8月30日（金）～31日（土）

会場：東京ビッグサイト

主催：日本経済新聞社



※当日の説明資料は当社ホームページからダウンロードいただけます。



<http://www.jbcchd.co.jp/ir/2013/09/20.html>

会社説明会



企業ブース



東証IRフェスタ2014に出展します。
ぜひ、企業ブースにお立ち寄りください。

開催：2014年2月21日（金）～22日（土）

会場：東京国際フォーラム B2F展示ホール

主催：日本取引所グループ/東京証券取引所



公式サイト：<http://www.tse-irfesta.com/>

入場
無料



3Dプリンター事業で3D Systems社より表彰されました。

3Dプリンターを取り扱うイグアス（i G U A Z U）は、3D Systems社^(*)より、全世界の販売店111社の中で2012年の伸長率がNo.1であったとして表彰されました。

今後、日本国内での3Dプリンター関連ビジネスは、ますます伸長すると予想されています。イグアスは、ヤマダ電機様や多くのパートナー企業様と積極的に協業し、前年実績倍増の目標でビジネスを推進しています。



来日中の3D Systems社 副社長ミケレ・マルケサン氏より表彰いただきました。

(*) 本社：米国サウス・カロライナ州ロックヒル（NYSE:DDD）。ストラタシス社と3Dプリンター業界大手2社といわれています。i G U A Z Uは2009年より同社と3Dプリンターの販売契約を締結し、日本国内での販売を展開しています。

海外での活動をご紹介します。

JBグループでは、中国、タイ、シンガポールの3カ国6拠点で現地進出の日系企業のIT活用を支援しています。

タイでも、3Dプリンターの販売を開始しました。

タイを拠点に活動するJBCC(Thailand)Co., Ltd.（JBTH）は、3Dプリンターショールームを開設し、日本から現地進出された製造業のお客様をはじめ、現地の病院やグラフィック関連の会社、大学などに3Dプリンターの活用を提案しています。



国内で唯一のIBM認定トレーニング・プロバイダーです。

アイ・ラーニング (i-Learning) は、IBMから国内で唯一認定されたトレーニング・プロバイダーとして研修サービスを提供しています。

2013年4月1日に、ゼネラル・ビジネス・サービス (GBS) の子会社であるアイセスは社名を変更し、日本アイ・ビー・エム人財ソリューション (株) のインストラクター、スタッフと共にスタートしました。

豊富な経験を持つインストラクターとスタッフが、新入社員研修から管理職研修、IBM製品をはじめとするIT研修など600種以上の幅広い研修メニューでお客様のニーズに合わせた研修を実施しています。



株式会社アイ・ラーニング (本社：東京都中央区)



<http://www.i-learning.jp/>

アイ・ラーニングは、情報ソリューションのサービスのカテゴリーに含まれます。

● 用語解説

※プロバイダー

何らかのサービスを提供する事業者のこと。

現地でのイベントに出展しました。



中国

JBCN大連、JBCN上海が、6月に中国最大規模のITサービス関連イベント「China International Software and Information Service Fair (CISIS) 2013 (中国、大連市で開催)」に昨年に引き続き出展し、中国で展開するクラウドサービスや3Dプリンター等を紹介しました。セミナーや展示の様子が現地メディアでも紹介されました。



タイ

JBTHは、9月にバンコクで開催された「アジアICTカンファレンス (日経BP社主催)」で、NTTデータや富士通と共に自社のITサービスについて講演しました。当カンファレンスは、日系現地法人の経営者やIT関係者、日系IT企業の幹部が一堂に会する企画で、タイ最大規模のITイベント「ASOCIO Summit 2013 & Software Expo Asia 2013」に併催されました。



アンケートのご報告

株主さまアンケートの結果をご報告します。

本年6～7月にかけて実施いたしました株主さまアンケートには、多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

いただきました貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考とさせていただきます。



実施期間 2013年6月14日～7月16日
回答者 1,182名 (回答率 17.7%)

男女比

男性

8

女性

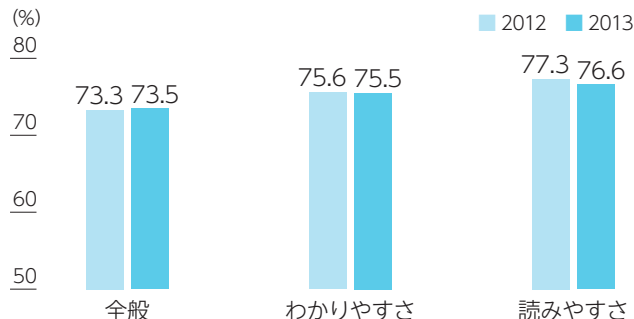
2



※昨年に比べ40歳代以下の方の回答が大幅に増加しました。

1 株主通信について

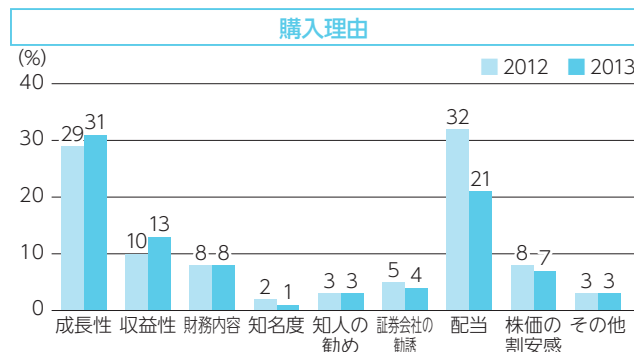
株主通信全般については、昨年より若干上回る評価をいただきました。一方で、わかりやすさ／読みやすさについては、昨年来年を下回る結果となりました。「グループ会社が多すぎて事業内容が理解しにくい」「専門用語がわかりにくい」といったご意見もございましたので、当グループをよりご理解いただける株主通信となるよう、引き続き、改善に努めてまいります。



2 当社株式の購入理由について

例年回答数の多い「配当」が下がり、「成長性」「収益性」の回答が増えています。

安定的な株主還元を継続するとともに、中期経営計画「Innovate2013」を踏まえ、国の成長分野でもある医療／環境・エネルギー／ものづくり等にも注力し、収益の向上をめざしてまいります。



IR (Investor Relations)とは・・・

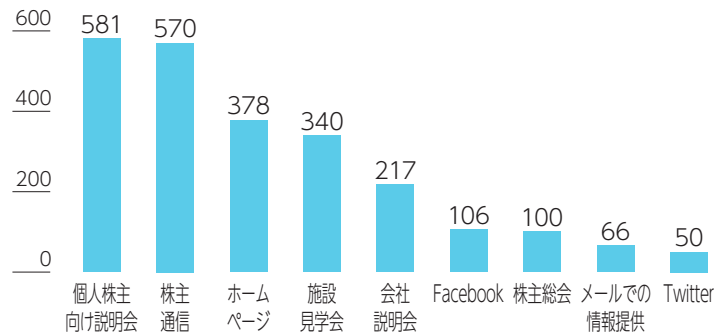
インベスター・リレーションズの略で、企業が投資家に向けて経営状況や財務状況、業績動向に関する情報を発信する活動をいいます。当社では、定量的な数値に加えて、定性的な情報もお知らせする事により、分かりやすいIR活動となるように努めています。

3 当社のIR活動について

新たな取り組み、充実すべきIR活動として、「株主通信」「個人株主向け説明会」「ホームページ」「施設見学会」に多くの回答をいただきました。

株主通信、ホームページの充実を図るとともに、東証IRフェスタなど、直接個人投資家のみなさまにご説明をさせていただく機会を増やすことも検討してまいります。

希望されるIR活動



4 ご記入いただいたコメントより

アンケートでは、数カ所にコメントをご記入いただく欄を設定し、約1,300件のコメントをいただきました。コメントは、当グループへの励ましのお言葉やお叱りのコメントなどさまざまですが、その一部を抜粋してご紹介いたします。



中期計画等を着実に実行し、成果をあげてください。



更なる収益の向上に努力ください。



3Dプリンターなどの新事業、大いに期待しています。

お寄せいただいたコメントを参考に、よりJBグループをご理解いただけるよう努めてまいります。引き続き、当社へのご支援をよろしくお願いいたします。



実施報告は、当社ホームページでもご報告しております。
「よくあるご質問」では、ご質問の一部の回答もご案内しています。
また、「IR資料室」では、以下の資料をご確認いただけます。

決算短信／有価証券報告書／株主通信／データブック／決算説明会資料／株主総会資料／動画配信

ホームページ「投資家のみなさまへ」 <http://www.jbcchd.co.jp/ir/>



第2四半期連結決算のご報告

連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 平成25年9月30日現在	前第2四半期 連結会計期間末 平成24年9月30日現在	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在
資産の部			
流動資産	28,881	29,496	31,692
現金及び預金	4,555	6,487	7,515
受取手形及び売掛金	17,231	16,436	18,259
商品及び製品	1,951	1,975	1,189
仕掛品	991	519	441
原材料及び貯蔵品	744	786	775
その他	3,407	3,289	3,511
固定資産	10,172	9,107	9,824
有形固定資産	2,134	1,757	1,883
無形固定資産	1,980	2,111	2,060
投資その他の資産	6,056	5,238	5,880
資産合計	39,053	38,603	41,516
負債の部			
流動負債	17,160	17,166	19,413
支払手形及び買掛金	9,065	9,280	10,927
短期借入金	1,552	1,323	1,230
リース債務	198	169	198
その他	6,343	6,393	7,057
固定負債	7,454	7,413	7,400
リース債務	297	173	252
退職給付引当金	6,828	6,884	6,842
役員退職慰労引当金	9	42	45
その他	319	313	260
負債合計	24,614	24,579	26,814
純資産の部			
株主資本	13,026	12,929	13,346
資本金	4,687	4,687	4,687
資本剰余金	4,760	4,760	4,760
利益剰余金	4,032	3,934	4,352
自己株式	△453	△453	△453
その他の包括利益累計額	241	△50	210
その他有価証券評価差額金	220	△41	203
為替換算調整勘定	20	△9	6
少数株主持分	1,170	1,146	1,145
純資産合計	14,438	14,024	14,702
負債・純資産合計	39,053	38,603	41,516

1 連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	42,868	42,452	90,265
売上原価	34,527	33,964	73,261
売上総利益	8,341	8,487	17,003
販売費及び一般管理費	8,215	7,697	15,143
営業利益	125	789	1,859
営業外収益	91	75	184
営業外費用	55	61	48
経常利益	160	803	1,994
特別利益	71	1	9
特別損失	30	65	95
税金等調整前純利益	201	739	1,908
法人税等	145	412	950
少数株主利益	162	79	79
純利益	△107	247	878

2 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
3 営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,425	829	2,768
4 投資活動によるキャッシュ・フロー	△458	△174	△684
5 財務活動によるキャッシュ・フロー	△40	△490	△908
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	1	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△2,917	166	1,188
現金及び現金同等物の期首残高	6,981	5,793	5,793
現金及び現金同等物の期末残高	4,064	5,959	6,981

Point

1 連結損益計算書

売上高は増収となりましたが、利益面については、第1四半期より継続しているシステム開発（S I）のコストオーバー案件による原価の増加に加え、拠点集約による生産性向上を目的としたオフィス統廃合に伴う一時費用の増加による販管費増の影響等もあり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

2 連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ29億17百万円減少し、40億64百万円となりました。

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は24億25百万円（前年同期は8億29百万円の増加）となりました。増加要因としては、主に売上債権の減少14億12百万円、減少要因としては、主にたな卸資産の増加12億79百万円、仕入債務の減少20億12百万円によるものです。

4 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は4億58百万円（前年同期は1億74百万円の減少）となりました。減少要因としては、主に有形固定資産の取得による支出1億22百万円、無形固定資産の取得による支出1億47百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億98百万円によるものです。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は40百万円（前年同期は4億90百万円の減少）となりました。増加要因としては、主に短期借入れによる収入14億96百万円、減少要因としては、主に短期借入金の返済による支出11億81百万円、配当金の支払いによる支出2億12百万円、リース債務の返済による支出1億21百万円によるものです。



第2四半期連結決算の詳細は
当社ホームページ〔IR資料室
（決算短信）〕に掲載しています。

JBCCHD IR 決算短信 検索

<http://www.jbcchd.co.jp/ir/library/>



会社概要・株式情報

会社概要 (平成25年9月30日現在)

社 名 JBCCホールディングス株式会社
(JBCC Holdings Inc.)

本社所在地 〒144-8721
東京都大田区蒲田5-37-1
ニッセイ アロマ スクエア
電話 03-5714-5171 (大代表)

設立年月日 昭和39年4月1日

資 本 金 46億8,769万円

グループ社員数 2,649名
(有期社員232名を含む)

役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長 山 田 隆 司

代 表 取 締 役 東 上 征 司

取締役常務執行役員 一 木 一 夫

取 締 役 矢 花 達 也
高 橋 正 孝
赤 坂 喜 好
谷 口 卓
瀬 尾 英 重 (社外取締役)

常 勤 監 査 役 田 邊 雅 章

監 査 役 今 村 昭 文 (社外監査役)
齊 藤 紀 夫 (社外監査役)

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 86,000,000株
発行済株式の総数 17,711,543株
株主数 8,430名

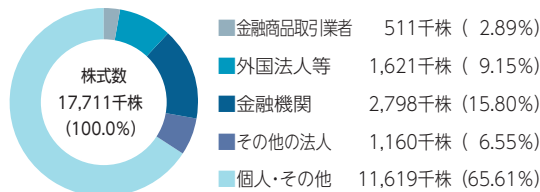
大株主 (上位10位)

順位	株主名	所有株式数	
		千株	%
1	J B グ ル ー プ 社 員 持 株 会	1,275	7.20
2	富 国 生 命 保 険 相 互 会 社	414	2.34
3	クレディ スイス ルクセンブルグ エス エー オン ビハーフ オブ クライアンツ	350	1.97
4	谷 口 君 代	348	1.96
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	341	1.93
6	日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	287	1.62
7	メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	287	1.62
8	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	251	1.41
9	新 谷 繁 八	237	1.34
10	ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	207	1.16

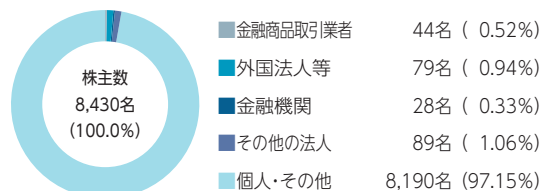
(注1) 上記には、当社名義の自己株式696千株は含まれておりません。
(注2) 上記の比率は「発行済株式の総数に対する所有株式数の割合」です。

所有者別株式分布状況 (平成25年9月30日現在)

株式数



株主数



JBグループの CSR活動

チャレンジ25 (※)

グループ社員が個々に会社と自宅の「CO₂削減の個人テーマ」を設定し、具体的にアクションしています。参加社員は、2,100名以上となり、グループ社員が自分の目標に取り組んでいます。

(※) オフィスや家庭などで実践できるCO₂削減に向けた具体的な行動を提案し、その行動の実践を広く国民によびかける国民運動です。詳細は、ホームページ (<http://www.challenge25.go.jp/>) をご確認ください。

地域での活動

事務所周辺での清掃活動などに積極的に取り組んでいます。また、「横濱ドラゴンボートレース(横浜市)」や「わっしょい百万夏まつり(北九州市)」など、地域のイベントに参加し、地域のみなさんとの交流を深めています。

エコ・キャップ 回収活動

2013年9月現在で、1,819,960個回収し、15,332kgCO₂削減、ポリオワクチン2,275名分相当となりました。

社員のボランティア 支援

ボランティア休暇やボランティアにかかる費用の一部負担などの制度を整え、社員の自発的なボランティア活動を支援しています。

緑化活動

2004年から日本に最も近い砂漠であるホルチン砂漠(中国 内蒙古自治区)の緑化活動を継続して支援しています。今年は8月に、中国で働く社員が現地で緑化活動を実施しました。

国内でも、札幌近郊での植林活動や沖縄でのマングローブの植えつけの活動に参加しています。

ホルチン砂漠緑化活動実績

これまでの植林活動 30ha
(東京ドーム6.3個分)

被災地での活動

『森の長城プロジェクト(※)』と連携し、被災地沿岸部に瓦礫を活かし巨大津波から命を守る森の防潮堤を築くための植樹活動に継続的に参加しています。

(※) 瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
公式サイト
<http://greatforestwall.com/>

JBグループでは、ご紹介した以外にも、「環境ISO14001」推進などさまざまな活動に取り組んでいます。活動は、当社ホームページでご確認ください。

<http://www.jbccd.co.jp/csr/>

株 主 メ モ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月に開催
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
03-6701-5000 (通話料有料)
土日祝祭日を除く平日9:00～17:00

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所
公 告 掲 載 U R L <http://www.jbcchd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本
経済新聞に公告いたします。)

お 知 ら せ 株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は
配当金振込指定書を各口座管理機関（証券会
社など）を経由してお届けいただくこととな
りました。
振込指定の詳しいお手続きにつきましては、
お取引先のある口座管理機関にお問い合わせ
ください。

JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は

☎0120-887-652 受付時間9:00～17:00（土・日・祝日除く）

e-mail : ir@web.jbcc.co.jp

ホームページをご活用ください。

 <http://www.jbcchd.co.jp/ir/>



決算などの財務内容、プレスリリースなどを紹介しています。ご質問、ご意見などをお寄せいただくコーナーもございます。

動画配信

 <http://www.jbcchd.co.jp/ir/bllibrary/movie/>

定時株主総会や機関投資家向け決算説明会の動画に加え、個人投資家向けイベントでの会社説明会など、当社経営者が事業戦略を説明している動画を配信しています。

IRメール配信サービスのご案内

無料

 ホームページ「投資家のみなさまへ」➡「IRメール配信」➡ご登録

当社ホームページの「IRニュース」や「お知らせ（PRニュース）」に掲載された各種新着情報を、メールでタイムリーにご案内します。ぜひ、ご利用ください。

JBグループ各社の最新情報をご案内しています。

 <http://www.jbgroup.jp/>



当サイトでは、各社の「お知らせ」や「製品、サービス（ソリューション）」、「お客様事例」などをまとめてご確認いただけます。



動画ライブラリーでは、4～5月にBSジャパンで放映された5分番組やコマーシャルもご覧いただけます。

UD FONT

